香美市キャリアチャレンジデイ

On-Line Meets

香美市では、平成２５年度から市内の全小中学校が、香美市の豊かな教育資源（人・自然・伝統・産業・保育所から大学まである環境など）を活かして『キャリア教育』に取り組んでいます。キャリアチャレンジデイは、その一環として市内の中学生を対象に行っているプログラムです。

令和元年度までは、高知工科大学を会場に、地域の皆さんの協力をいただき、鏡野中学校、香北中学校、大栃中学校の１・２年生が一同に集まって開催していましたが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となりました。

昨年度は、コロナ禍での新たな実施形態として、各中学校を会場にオンラインでつなげ『キャリアチャレンジデイOn-Line Meets』を開催しましたが、今年度はオンラインと対面によるハイブリッド型で開催しました。

▲キャリアチャレンジデイ On-Line Meetsの様子（令和３年度）

～ キャリアチャレンジデイOn - Line Meetsのねらい ～

生徒が様々な業種、職種の方々と出会い、話を聞くことで、『職業の役割とそれに必要な能力との関係』について考えるとともに、出会った人々の生き方や考え方に触れる。

９月９日に行われた『香美市キャリアチャレンジデイ』は、市内の中学２年生の約１６０名が各校を会場に、午前の部は企業６社とオンラインでつながり、午後の部は地元講師による対面授業という二部構成で実施しました。

７月から始まった事前学習では、中学生が１人１台タブレットを活用し、『働くこと』について意見交換をしたり、参加企業について調べたりして、講師への質問を考えました。

当日は、各講師が、会社や働く人の『意志』『役割』『能力』とともに、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の取組などについて、分かりやすく、興味をひきつける内容で話をしてくれました。

中学生は、熱心に講師の話に耳を傾け、講師に質問をしながら、社会で働く人の思いを感じることができたと思います。企業講師、地元講師それぞれのお話の中から、共通点を見出し、将来についての考えを持つうえで、大切な視点や考え方に気づき、生き方についての学びを得ることができました。

キャリアチャレンジデイを通して、気づいたこと・学んだことを、自分自身のこれからの生き方につなげていってもらいたいと思います。

そして来年度には、新型コロナウイルス感染症が収束し、さらにたくさんの方々に、キャリアチャレンジデイへご参加いただけるようになることを願っています。

意志
経営についての考え方・
目標・やりとげる気持ち

役割
企業・団体が
社会で担う役割

能力
役割を果たし、目標を
達成するために
必要な知識・技能

▲自分を成長させる『意思・役割・能力』の関係

【午前の部のオンライン参加企業】
ソニーグループ株式会社・カシオ計算機株式会社・川崎重工業株式会社・大日本印刷株式会社
トヨタ自動車株式会社・住友ファーマ株式会社

午後の部の地元講師の皆さん

①【鏡野中学校会場】
講師：なかよしライブラリー　濱田 創さん

②【香北中学校会場】
講師：高知県立坂本龍馬記念館　前田由紀枝さん

③【香北中学校会場】
講師：香美森林組合　田邉博朗さん

④【香北中学校会場】
講師：湖畔遊　西村昌代さん

⑤【大栃中学校会場】
講師：baseworks高知　勝見友彦さん

事前学習の様子

名前は聞いたことあったけど…調べてみると仕事内容が色々あるんだね。

どんな質問をしてみようかな。

▲自分が希望している企業の情報を、インターネットで調べて質問内容を考えています。

▲タブレットに企業への質問を入力し、グループで共有。